



“大好きな乗馬”
5歳児 アイルランド



幼年美術

608

2・3月合併号

発行所 大阪府東大阪市長田中4丁目6-3

ペんてる(株)大阪支社内

全国幼年美術の会 〒577-0013 ☎ (06)6747-1601

発行人 木代喜司

年間購読料 3,000円 1部300円(送料込み)

第49回 世界児童画展 作品より



“たまごハウス”
6歳児 香川県



“電車に乗って、ちょうど見に行ったよ”
4歳児 大阪府

六十歳を過ぎて絵遊びを始めた。昨年のこの投稿で「一日一枚落書き」している。もうすぐ一年、飽きずに続いている」と書いたが、今年で二年になるがまだ続いている。約六百点になる。

カラフルな絵もあれば、シンプルな絵もある。おだやか絵もあれば、はげしい絵もある。心に残っている絵もあれば、すっかり忘れている絵もある。

描いた時はあまりいい感じとは思わなかつた絵が、もう一度見直すといい感じになつている絵もある。絵は描いた時のままだ。違つた感じに見えるのはわたしの見方が変わったからだと思う。見方は日々変わるので。

思いのままに描くというよりは、手の動きのままに描いている。トントン、グルグル、グニヤグニヤ、クレヨンやペンが紙の上を動く感触を楽しむ。そうすると形と色が表れてくる。その形と色に思いが追いつく。そして自分の絵と自分の思いとの対話が広がる。何かに「する」絵ではなく、何かに「なる」絵だ。

何かを「求める」絵でなく、何かが「生まれる」絵だ。

「気づいたこと」を「描く」のではなく、「描いたこと」から「気づく」のだ。そういうお絵描きは楽しい。きっと子どもも。



巻頭言

楽しいお絵描き

今回ご寄稿いただいた原稿を掲載するにあたって、図工を通して、とても熱心に取り組み子どもたちと関わる様子が伝わり、嬉しくなりました。しかし一方で、図工科教育で大変陥りやすい、危うい事例、あきらかに正しくない思い込みが随所に散見します。これは、誰しも墜ちうる問題ですので、これを縁として、皆さんともう一度考える機会とさせていただくことにしました。

あと一点補足すれば、元々は同校では、クロッキーに象徴される技能・集中力向上といった教育だったものを、アート的なものへ視野を広げていこうというスタートラインであることも補足しておきます。だからこそ、アートとして、教科図工として正しくない根を絶ち、アート本来の方向性に矯正するご縁となることを願つて、扱わせてもらつてしましました。

「紙上研修会」の形で、寄稿実践紹介のあとに、小学校教員としてのご指導経験もある、常任委員・滋賀幼年美術の会会長の黄瀬重義先生より、この実践の反省点、注意点、又新たな提案を述べていただきます。誰もが陥りやすいことだければ幸いです。

(羽溪)

本校の国画工作の目標である「資質・能力（生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力）を養う」ために、月に2回1校時前の10分間をアートタイムとしてクロッキーとクリエイティブアートトレーニングをしています。

クロッキーとクリエイティブアートトレーニングでは、まずその日の題材を放送で聞きます。その後8分間程度集中して描きます。その際、描く画材は4B・6B等の鉛筆、ネームペン、クレヨン、コンテ等を使用しますが、どの画材を使用するかは児童に選択させます。児童自身によって選択・決定されることで、題材によつて適切に描く画材を選ぶ力ができるようになります。また消しゴムは使用しません。限られた時間の中で集中して描くためです。また、児童は時には「間違えた」と口にしますが、図工に間違いはなく、どの線も作品の要素になることを学び、自信を持つ絵を描くことでアートタイムを楽しむことができるよう指導します。

描き終わったら、各担任がクラスから一枚ずつ選んで図工専科の教師に提出し、校内の児童ホールに掲示

一 はじめに

福山暁の星小学校 小林真優子

アートタイムで表現力をつける

します。そして校長が特選、金賞、銀賞、銅賞を選定します。児童は毎回掲示を楽しみにしており、貼られた作品を鑑賞します。友達や上級生、下級生の作品の良い点を見つけ、次自分の絵に生かすことができる良い機会なのです。

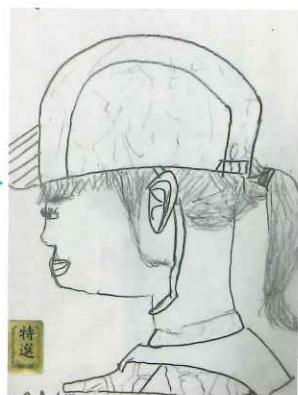
全校の作品



○アートタイム年間計画

月	日	曜日	種別	内 容
4	22	月	クロッキー	友だち
5	20	月	クリエイティブアート	折り紙を切って…、交換してのりで貼って…
	28	火	クロッキー	自分の筆箱とそのなかみと教科書など
6	4	火	クリエイティブアート	折り紙を半分に折って切って…、交換してのりで貼って…
	24	月	クロッキー	教科書を持って授業する先生
7	1	月	クリエイティブアート	画用紙を半分に折って切って、立体に組み立てる
	8	月	クロッキー	横向きの友だち
9	9	月	クリエイティブアート	名曲を聴きながらクレヨンで自由に描く
	30	月	クロッキー	体操をする先生
10	7	月	クリエイティブアート	お話を聞いて描く
	21	月	クロッキー	楽器を演奏する先生
11	11	月	クリエイティブアート	サンタクロースは今何をしているかな？
	25	月	クロッキー	体操帽子をかぶっている友だち
12	2	月	クリエイティブアート	画用紙を切ってまるめる
	16	火	クロッキー	担任以外の先生
1	20	月	クリエイティブアート	お話を聞いて描く
	27	月	クロッキー	シューズと○○
2	10	月	クリエイティブアート	クレヨンやコンテでマフラーやひざかけ
	17	月	クロッキー	春の訪れを感じるもの
3	2	月	クロッキー	担任の先生に感謝の心を込めて

帽子のしわ、髪の毛も一本一本丁寧に描かれています。



2年男子の作品

〈題『体操帽子をかぶっている友だち』〉

〔選定基準〕

- 描く対象人物の特徴を捉え、その先生に対する思いが表現できている作品
- 線がしっかりといて細部まで丁寧に描かれている作品



4年女子の作品

宗教の授業で、大切なことを一生懸命伝えようとしている真剣な表情がよく描けています。



2年女子の作品

受付の先生が電話で対応している姿をいつも素敵だなと思って見ている憧れが感じられます。



1年男子の作品

毎朝元気な挨拶を交わします。その時の顔の表情を良く見て描いています。

しかし、平成29年3月に告示された学習指導要領は、全教科共通の育成すべき資質・能力の3つの柱が示され、各教科を通して習得する「資質・能力」を前面に出しているところが特色であります。また、どのように学ぶかについては、アクティブラーニングの視点からの不斷の授業改善が必要とされています。主体的・対話的で深い学びをすることで、これから時代に求められる資質・能力を身につけ、生涯にわたって能動的に学び続ける人間を育成することが求められていると思います。

物画では「横向きの友だち」や「教科書を持つて授業する先生」など題に変化を持たせ、顔を中心には欠かせる場合と、全体を捉えさせながらも、指などの細かい部分もよく見て描く場合とし、クロッキーの技能が育っていることを感じます。昨年度は、アートタイムではなく、クロッキータイムとして、前記の人物・静物や消しゴム・鉛筆・ふでばこ・ハサミ・草花なども描いていました。

どの人物画と筆箱の中身やシューズなどの静物画を描かせていました。

つながると考えます。

図画工作科の授業で制作活動を始めたつても時には10分たつても活動が始まらない児童がいることがあります。その児童に理由を聞いてみると、「何を描いていいかわからない。」「描きたいものが思い浮かばない。」でした。そのような児童を救うにはどうしたらよいか。それは大きな課題でした。

児童に発想力・構想力をつけるにはどうしたらよいか。職員研修をしたり市内の実技研修に参加したりして、たどりついたのが、クリエイティブアートトレーニングです。10分間にクロッキーばかりするのではなく、クリエイティブな活動を半分は入れ、名前もアートタイムと改めました。名前もアートタイムと

三 クリエイティブアートトレーニング

クリエイティブアートトレーニングでは発想・構想能力を育みます。

①折り紙を半分に折つてアナウンスに沿つて、ハサミで切り、友だち

と交換して白い画用紙に貼ります。

そして貼ったものが何に見えるかを考え、絵を描きます。自分が切つたものを使用するのではなく、友だちが切つたものを使用することがポイントです。友だちからもらった形を見て、瞬時に何かを発想する力をつけるためです。

二 クロッキー

クロッキーでは、友だちや先生な

四 おわりに

このように、クロッキーとクリエイティブアートトレーニングを交互に行うことによって、発想構想力・創造的技能を養うことができます。

1年女子の作品



6年女子の作品

私は今年度1年生を担任していますが、4月は何を描いたらいいのか、何に見えるのか分からず手が止まってしまう児童もいましたが、回数を重ねるごとに描くスピードも速くなり、想像も豊かになったように思います。



6年生になると、人物の表情の周りの情景まで詳しく描けています。

「1年児童の感想」

「毎回とても楽しいです。最初は形が上手に作れなかつたけれど何回もしたので、形が上手に作れました。ホールに飾つてもらえるのも、とても嬉しいです。」

担任の感想
・1年間のア

- 1年間のアートタイムでものを見る力が育ち、コンテやクレヨンを使って混色やぼかしの工夫もできるようになった。
- 物事を多角的に見る力やイメージする力がついた。アートタイムには中学年で育てたい力が詰まっている。
- 全体のバランスを見て描く力が育った。また、線も柔らかくなり、細かいしわや影までよく見ようと意識するようになった。
- 子どもたちは3Dの世界を体験しているため、立体的にものを見理解したり、描いたりできる力をつけていた。そのためには、学年に応じて描くものを変えてさらに力をつけたいと思う。
- 初めのころは、しゃべり声が聞こえていたが、回を重ねるごとに集中して描くことができた。

アートタイムの効果は明らかで
たいへん意義深いものです。たつ
た10分間ですが、1年間に20回す
れば、200分もしたことになります。
ます。子どもたちの感性を豊かに
育むよう、来年度も引き続き実施
したいと思います。

アートって「もやもや」するものかも

全国幼年美術の会 常任委員
滋賀幼年美術の会 会長 黄瀬重義

研修会 全国幼年美術の会 常任委員 滋賀幼年美術の会 会長 黄瀬重義 アートって「もやもや」するものかも

しつづけなければなりません。アートはいつも自分が起点でなければなりません。そこで私の提案なのです。が、先生が全員で子どもたちの前で、子どもたちからお題をもらつて絵を描いてください。子どもたちに投票で金、銀、銅賞を決めてもらつてください。選ばれた先生も選ばれなかつた先生も自分の気持ちを子どもたちに伝えてください。みんなの前で自分をさらけ出さるには勇気がいいたことや、でかねがかけがえのない自分の大切な絵であることも伝えてください。さらに互いの絵の良さを称えあってください。子どもはどんな時に成長するのでしょうか？最初の問い合わせです。順調に楽しく描いている時だけではありません。なかなか始められないでじつとしている時、途中でどう描いていいかわからくなつた時、意欲が湧かずただうろついている時、子どもはいつでも成長しています。

アートには間違いがありますが、子どもの活動には間違いはありません。でも正しさもないのです。「もやもや」するものなのです。「間違い」は「勘違い」です。「もやもや」を受け入れ楽しむ、そこに本当の学びがあります。子どもの学びは、混沌とした中で育れます。大人の求める静寂の中では、子どもの心は開放しにくいかもしれません。想像も創造も騒々しい中から湧いてきます。それが造形あそびです。子どもを信じ、尊敬する、そんな先生のあたたかな眼差しが、子どもの表現を豊かにしていくはずです。アートタイムでの取り組みはきっかけですかありません。

そのきっかけから、一人ひとりの子どもが先生の意図することを乗り越え打ち破っていく力、それがアートの力です。わくわくしませんか？

年度末を迎えるにあたり、何やら世の中、騒々しいこととなつて います。如何お過ごしでしょうか？

感染の実情にそぐわない、政府による学校一斉休校措置依頼に始まる様々な混乱、困惑、迷惑、落胆……又、過度なる自肃ムード満載の中、経済活動にも大きな危機を招いています。問題を軽視はしませんが、私たちの社会が、何か大切なことを忘れたのか、そういう力を失いつつあるのか？ 創意工夫のない、ざつくり『やる』か『やらない』の安易な二択形式で、ものごとが進むことに、強い憤りと落胆を覚えます。他者は他者として、個々がやりくりする、創意工夫をするという、少々面倒なことです。そのことを通じて、様々なことが可能となります。そして、そうした違いを互いに尊重しあう社会こそが、私たちが目指す社会のはずでした。しかし現状では、どこか安直に何かに身を委ねているその一方で、やれ「個性だ」「主体性だ」と叫ばれる、何とも妙な状況に陥っています。何としても、この状況を打破したいと、俄然とファイトが沸いています。